

2024年度

# 1級建築

施工管理技術検定

一次

5分あればOK!

本試験直前の見直し!

# 即Check

# 要点まとめBOOK

試験終了後の

無料

即日

WEB採点サービス

も要チェック!

解答速報  YouTube 今夜7/21(日) YouTubeで生放送! 19:00~

詳しくは裏面をご覧ください

日建学院

## ✓ 建築学等

### ● 計画原論

- 1 換気に関して、室内空気の二酸化炭素の濃度は、**1,000ppm**以下となるようにする。
- 2 昼光率とは、**全天空照度**に対する室内のある点の天空光による照度の比をいう。
- 3 音に関して、単層壁の音響透過損失は、一般に壁の面密度が**高いほど大きい**。

### ● 一般構造

- 4 杭の周辺地盤に沈下が生じたときに杭に作用する負の摩擦力は、一般に摩擦杭の場合より支持杭の方が**大きい**。
- 5 鉄筋コンクリート構造に関して、柱の主筋の断面積の和は、コンクリートの断面積の**0.8%**以上とする。
- 6 鉄骨構造に関して、溶接と高力ボルトを併用する継手で、**溶接を後**で行う場合は、両方の許容耐力を**加算してよい**。

### ● 建築材料

- 7 鋼材に関して、耐火鋼(FR鋼)は、モリブデン等を添加して**耐火性を高めた鋼材**である。
- 8 **合わせガラス**は、2枚以上の板ガラスに中間膜を挟み全面接着したもので、外力の作用によって破損しても、破片の大部分が飛び散らないようにしたガラスである。
- 9 石材に関して、花崗岩は、耐磨耗性、耐久性に優れるが、**耐火性に劣る**。

### ● 共通

- 10 高置水槽方式は、一度受水槽に貯留した水をポンプで建物高所の高置水槽に揚水し、高置水槽からは**重力**によって各所に給水する方式である。
- 11 定風量単一ダクト方式は、還気と外気を空調機内で温度、湿度、清浄度を総合的に調整した後、ダクトにより各室に**一定の風量**で送風する方式である。
- 12 電気設備に関して、電圧の種別で**低圧**とは、**直流**にあつては**750V**以下、**交流**にあつては**600V**以下のものをいう。

## ✓ 施工

### ● 躯体工事

- 13 乗入れ構台に関して、構台の大引下端は、1階床スラブ上端より**20~30cm**程度上に設定する。
- 14 地業工事に関して、セメントミルク工法において、アースオーガーは掘削時及び引上げ時とも**正回転**とする。
- 15 鉄筋工事に関して、同径の異形鉄筋相互のあき寸法は、鉄筋の呼び名の数値の1.5倍、粗骨材最大寸法の1.25倍、25mmのうち**最も大きい数値以上**とする。
- 16 型枠工事に関して、支柱としてパイプサポートを2本継いで使用する場合、継手部は**4本**以上の**ボルト**又は**専用の金具**を用いて固定しなければならない。
- 17 コンクリート工事に関して、連続的に散水を行って水分を供給する方法による**湿潤養生**は、コンクリートの**凝結が終了した後**に行う。

- 18 鉄骨工事に関して、490N/mm<sup>2</sup>級の鋼材の組立て溶接を被覆アーク溶接で行う場合、**低水素系溶接棒**を用いる。
- 19 鉄骨工事に関して、柱の溶接継手のエレクションピースに使用する仮ボルトは、**高力ボルト**を使用して**全数**締め付ける。
- 20 鉄筋コンクリート造の耐震改修における柱の連続繊維補強工法において、躯体表面を平滑にするための下地処理を行い、隅角部は**面取り**する。

## ●仕上工事

- 21 アスファルト防水の密着工法において、平場のルーフィングの張付けに先立ち、下地の出隅・入隅は幅**300mm**程度のストレッチルーフィングで**増張り**する。
- 22 外壁のタイル密着張り工法において、下地面への張付けモルタルの塗付けは、**2度塗り**とし、その合計の塗り厚は**5～8mm**とする。
- 23 アルミニウム製建具に関して、建具枠のアンカーは、両端から逃げた位置から、間隔**500mm**以下に取り付ける。
- 24 軽量鉄骨壁下地に関して、振れ止めは、床ランナーの下端から間隔約**1,200mm**ごとに取り付け、上部ランナーの上端から400mm以内に位置するものは取付けを省略できる。
- 25 壁のせっこうボード張りに関して、せっこう系接着材による直張り工法で、一度に練る接着材の量は、**1時間**以内に使い切れる量とする。
- 26 ビニル床シート張りに関して、熱溶接工法における溶接作業は、床シートを張付け後**12時間**以上放置してから行う。

## ☑ 施工管理法

### ●施工計画

- 27 建築工事の工期とコストの一般的な関係として、最適工期は、直接費と間接費の和が**最小**となるときの工期である。
- 28 事前調査や準備作業に関して、揚重機の設置計画に当たり、敷地周辺の**電波障害**が予測される範囲について調査を行う。
- 29 仮設の照明設備において、普通の作業を行う作業面の照度は、**150ルクス**以上とする。
- 30 労働基準監督署長へ提出する計画の届出に関して、支柱の高さが3.5m以上の型枠支保工を設置する場合は、その計画を当該工事の開始の日の**30日前**までに届け出なければならない。

### ●工程管理

- 31 工程計画では、各作業の**手順**計画を立て、次に**日程**計画を決定する。
- 32 工程計画に関して、工程短縮を図るために行う**工区**の分割は、各工区の作業数量が**ほぼ均等**になるように計画する。
- 33 ネットワーク工程表に関して、トータルフロートが0の作業をつないだものが、**クリティカルパス**である。
- 34 工程表は、休日や天候を考慮した実質的な**作業可能日数**を暦日換算した日数を用いて作成する。

### ●品質管理

- 35 施工品質管理表(QC工程表)の作成は、工種別又は部位別とし、管理項目は作業の重要度に関わらず**施工工程**に沿って並べる。
- 36 品質管理に関して、品質確保のための作業標準を作成し、作業標準どおり行われているか**管理**を行う。
- 37 **パレート図**は、項目別に層別して、出現度数の大きさの順に並べるとともに、累積和を示した図である。
- 38 品質管理に関して、中間検査は、不良なロットが次工程に渡らないよう**事前**に取り除くことによって損害を少なくするために行う検査である。

### ●安全管理

- 39 労働災害における重大災害とは、一時に**3名**以上の労働者が業務上死傷又は罹病した災害をいう。
- 40 安全管理に関して、高所から物体を投下するとき、適当な投下設備を設け、監視人を置く等の必要があるのは、**3m以上**の高さから投下する場合である。
- 41 つり上げ荷重が**1 t以上**の移動式クレーンの玉掛けの業務は、玉掛け技能講習を修了した者でなければ、業務につかせてはならない。
- 42 酸素欠乏危険場所で空気中の酸素の濃度測定を行ったときは、その記録を**3年間**保存しなければならない。

### ☑法規

- 43 「建築基準法」上、共同住宅の用途に供する建築物は、**特殊建築物**である。
- 44 「建築基準法」上、確認済証の交付を受けた建築物の**完了検査**を受けようとする建築主は、工事が完了した日から**4日**以内に建築主事に到達するように、検査の中請をしなければならない。
- 45 「建設業法」上、建築工事業で一般建設業の許可を受けた者が、1件の建設工事につき、総額が**7,000万円**以上となる下請け契約を締結するために、特定建設業の許可を受けたときは、一般建設業の許可は、その効力を失う。
- 46 「建設業法」上、発注者から直接、塗装工事を500万円で請け負った建設業者は、**主任技術者**を工事現場に置かなければならない。
- 47 「労働基準法」上、使用者は、労働時間が8時間を超える場合には、少なくとも**1時間**の休憩時間を労働時間の途中に与えなければならない。
- 48 「労働安全衛生法」上、事業者は、常時**100人**の労働者を使用する事業場では、**総括安全衛生管理者**を選任しなければならない。
- 49 「振動規制法」上、特定建設作業を伴う建設工事の施工者は、特定建設作業開始の日の**7日**前までに実施の届出をしなければならない。
- 50 「宅地造成及び特定盛土等規制法」上、盛土をする土地の面積が400㎡であって、盛土をした土地の部分に高さが2mの崖を生ずるものは**宅地造成**に該当する。

無料!

毎年大好評! 今年もやります!

# 1級建築施工管理技士

## 二次検定ポイント講習会

全国の日建学院で開催!

- ▶ 経験記述の記述上のポイント
- ▶ 記述式問題の分析と対策
- ▶ 二次検定の学習方法のアドバイス

必ず役立つ  
内容を解説  
します!



二次検定の出題傾向と  
記述上のポイントを  
まとめたオリジナル冊子

参加者全員  
プレゼント!

ポイント講習会のお申込みはパソコン・  
スマートフォンから! または最寄りの日建学院へ!

1級建築施工管理技士

日建学院



※詳細や開催日時については  
日建学院のホームページまた  
は最寄りの日建学院までお問  
い合わせください。

お申し込みは  
こちらから! ▶



### 日建学院 本校教室一覧

#### 北海道・東北地区

- 札幌 ☎ 011-251-6010
- 苫小牧 ☎ 011-251-6010
- 旭川 ☎ 0166-22-0201
- 青森 ☎ 017-774-5001
- 弘前 ☎ 0172-29-2561
- 八戸 ☎ 0178-70-7500
- 盛岡 ☎ 019-659-3900
- 水沢 ☎ 0197-22-4551
- 仙台 ☎ 022-267-5001
- 秋田 ☎ 018-801-7070
- 山形 ☎ 023-622-5100
- 酒田 ☎ 0234-26-3351
- 郡山 ☎ 024-941-1111

- 太田 ☎ 0276-58-2570
- 大宮 ☎ 048-648-5555
- 川口 ☎ 048-499-5001
- 川越 ☎ 049-243-3611
- 所沢 ☎ 04-2991-3759
- 朝霞台 ☎ 048-470-5501
- 南越谷 ☎ 048-986-2700
- 熊谷 ☎ 048-525-1806
- 千葉 ☎ 043-244-0121
- 船橋 ☎ 047-422-7501
- 成田 ☎ 0476-22-8011
- 木更津 ☎ 0438-80-7766
- 柏 ☎ 04-7165-1929
- 新松戸 ☎ 047-348-6111
- 浦安 ☎ 047-397-6780

#### 北陸地区

- 新潟 ☎ 025-245-5001
- 長岡 ☎ 0258-25-8001
- 上越 ☎ 025-525-4885
- 富山 ☎ 076-433-2002
- 金沢 ☎ 076-280-6001
- KIT前教室 ☎ 076-293-0821
- 福井 ☎ 0776-21-5001

- 池袋 ☎ 03-3971-1101
- 新宿 ☎ 03-6894-5800
- 上野 ☎ 03-5818-0731
- 新橋 ☎ 03-6858-4650
- 吉祥寺 ☎ 0422-28-5001
- 立川 ☎ 042-527-3291
- 八王子 ☎ 042-628-7101
- 北千住 ☎ 03-6850-0120
- 町田 ☎ 042-728-6411
- 武蔵小杉 ☎ 044-733-2323
- 横浜 ☎ 045-440-1250
- 厚木 ☎ 046-224-5001
- 藤沢 ☎ 0466-29-6400
- 山梨 ☎ 055-263-5170
- 長野 ☎ 026-244-4333
- 松本 ☎ 0263-41-0044

#### 関東地区

- 水戸 ☎ 029-305-5433
- つくば ☎ 029-863-5015
- 宇都宮 ☎ 028-637-5001
- 小山 ☎ 0285-31-4331
- 群馬 ☎ 027-330-2611

#### 東海地区

- 静岡 ☎ 054-654-5091
- 浜松 ☎ 053-546-1077
- 浜津 ☎ 055-954-3100
- 富士 ☎ 0545-66-0951
- 名古屋 ☎ 052-856-0631
- 北愛知 ☎ 0568-75-2789
- 岡崎 ☎ 0564-28-3811
- 豊橋 ☎ 0532-57-5113
- 岐阜 ☎ 058-216-5300
- 四日市 ☎ 059-349-0005
- 津 ☎ 059-291-6030

#### 近畿地区

- 京都 ☎ 075-221-5911
- 福知山 ☎ 0773-23-9121
- 滋賀 ☎ 077-561-4351
- 梅田 ☎ 06-6377-1055
- なば ☎ 06-4708-0445
- 枚方 ☎ 072-843-1250
- 堺 ☎ 072-228-6728
- 岸和田 ☎ 072-436-1510
- 橿原 ☎ 0744-28-5600
- 奈良 ☎ 0742-34-8771
- 神戸 ☎ 078-230-8331
- 姫路 ☎ 079-281-5001
- 和歌山 ☎ 073-473-5551
- 田辺 ☎ 0739-22-6665

#### 中国地区

- 岡山 ☎ 086-223-8860
- 倉敷 ☎ 086-435-0150
- 福山 ☎ 084-926-0570
- 広島 ☎ 082-223-2751
- 岩国 ☎ 0827-22-3740
- 山口 ☎ 083-972-5001
- 徳山 ☎ 0834-31-4339
- 松江 ☎ 0852-27-3618
- 鳥取 ☎ 0857-27-1987
- 米子 ☎ 0859-33-7519

#### 四国地区

- 松山 ☎ 089-924-6777
- 西条 ☎ 0897-55-6770
- 高松 ☎ 087-869-4661
- 高知 ☎ 088-821-6165
- 徳島 ☎ 088-622-5110

#### 九州地区

- 北九州 ☎ 093-512-7100
- 天神 ☎ 092-762-3170
- 博多 ☎ 092-233-1156
- 久留米 ☎ 0942-33-9164
- 大牟田教室 ☎ 0944-32-8915
- 佐賀 ☎ 0952-31-5001
- 長崎 ☎ 095-820-5100
- 佐世保 ☎ 0956-88-2060
- 大分 ☎ 097-546-0521
- 中津 ☎ 0979-25-0002
- 熊本 ☎ 096-241-8880
- 宮崎 ☎ 0985-50-0034
- 延岡 ☎ 0982-34-7183
- 都城 ☎ 0986-88-4001
- 鹿児島 ☎ 099-808-2500
- 沖縄 ☎ 098-861-6006
- うるま ☎ 098-916-7430
- 名護 ☎ 0980-50-9115

※2024年04月01日現在

日建学院 認定校

日建学院 認定校

日建学院 公認スクール

日建学院 公認スクール

受講者の生活スタイルは様々です。できることならば通学時間は短いほうがいい。そんな思いで「日建学院認定校」と「日建学院公認スクール」を全国に開校しています。「日建学院認定校」では建築士と土木施工管理技士を中心に運営、「日建学院公認スクール」でも多くの講座を運営しています。提供される講座は、本校と同じカリキュラム、同じ教材でクオリティの高い授業が提供されます。日建学院ホームページの全国学校案内からあなたの近くの日建学院をお探ください。

# 希望者全員にプレゼント!

前年(2023年度)、1級建築施工管理技士二次検定の「日建オリジナル問題・解答参考例」を差し上げます。



お申し込みはインターネットまたはお電話にて受け付けております。

日建学院



<https://www.ksknet.co.jp/nikken/>

※詳細や開催日時については日建学院のホームページまたは最寄りの日建学院までお問い合わせください。

premium course

## 1級建築施工管理技士資格取得とあわせて、 1級建築士資格取得も目指す方は要チェック!

“1級建築施工管理技士”+“1級建築士”のWライセンス!!

2025年度の1級建築士学科スーパー本科コースをお申し込みの方には、  
2024年度1級建築施工管理技士二次本科速修コースまたは、二次コースを特別価格にて受講いただけます。  
詳しくは、最寄りの日建学院各校までお問い合わせください。

詳しくは  
こちらから

2025年度 1級建築士  
学科スーパー本科コース



受講料	学生価格
790,000円 (税込869,000円)	690,000円 (税込759,000円)

詳しくは  
こちらから

2025年度 2級建築士  
学科スーパー本科コース



受講料	学生価格
620,000円 (税込682,000円)	520,000円 (税込572,000円)

学科試験合格に的を絞った究極のプレミアムコース!  
追加オプション等、追加費用はございません!

2024年度

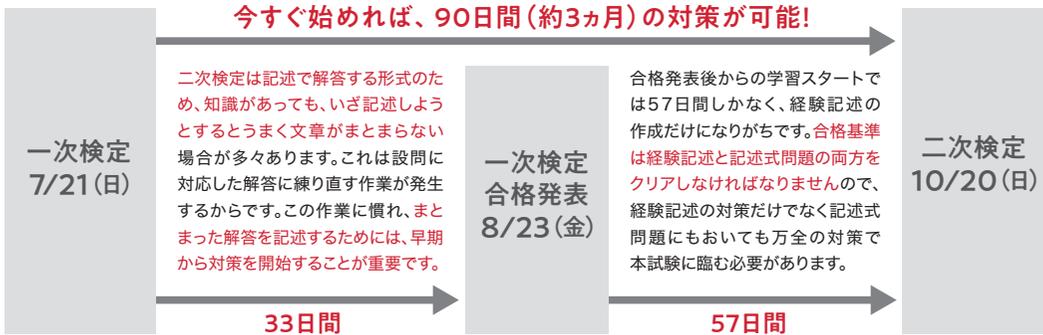
# 二次検定対策

**要**  
チェック!

二次検定対策は一次検定合格発表前からの取り組みが重要です。

## 1級建築施工管理技士

10月20日(日)の二次検定合格を勝ちとるために!



### 講座ラインナップ

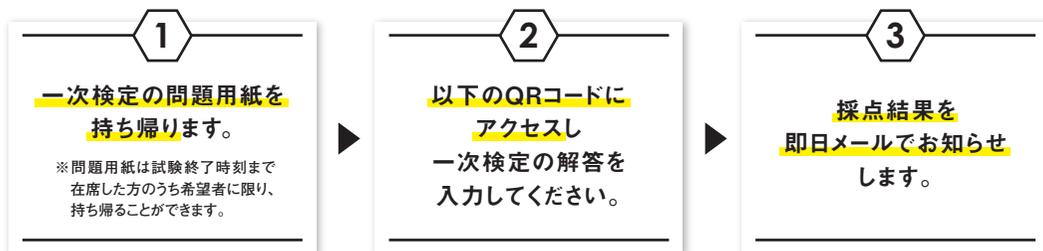
コース名	受講スタイル	概要	開講日	学習期間・回数	受講料
1級建築 施工管理技士	二次本科 速修コース <small>一般教育訓練 給付金適用 人材開発支援 助成金適用</small>	通学講座  <b>2ステップ+映像講義と講師による直接指導</b> わかりやすい映像講義と添削指導で学んだ後、講師による直接指導で合格記述の答案作成を徹底的に身に付けます。ステップ1:経験記述攻略講義は、「施工経験記述」対策を中心に課題演習と添削指導を実施。ステップ2:二次講義では、全範囲に対応した合格力養成と試験直前対策で総まとめを行う効率的なトータルカリキュラムにて合格へ導きます	2024年 6月下旬	約4ヵ月 (32回)	230,000円 (税込253,000円)
	二次添削 指導付きコース	Web講座 + 通学講座  <b>一次検定試験後からの Web学習と講師による直接指導</b> Web学習+講師による直接指導で合格記述の答案作成を徹底的に身に付けます。経験記述攻略講義Webは、「施工経験記述」対策を中心に演習課題を実施。二次講義では、全範囲に対応した合格力養成と試験直前対策で総まとめを行う効率的なトータルカリキュラムにて合格へ導きます。	2024年 7月下旬 } 2024年 本試験日	約3ヵ月 (22回)	210,000円 (税込231,000円)
	二次コース	通学講座  Web講座  <b>映像講義で経験記述のコツをマスター</b> 本試験1ヵ月半前に開講する全16回の直前集中講座です。経験記述、施工、躯体工事、仕上工事、施工管理法、法規と試験範囲を網羅して合格に必要な知識を徹底習得。記述講義では、映像講義で経験記述のポイントを身に付けます。	2024年 9月上旬 } 2024年 9月上旬 } 2024年 本試験日	約2ヵ月 (16回)	180,000円 (税込198,000円)

本冊子を受け取った方への **スペシャル特典!**

\ 試験終了後 /

# 無料 即日 WEB採点サービス

WEB採点サービスは簡単 **3** ステップ!



WEB採点サービス受付期間

**7/21(日)～7/29(月)**

解答速報 YouTube 今夜YouTubeで生放送! 7/21(日)19:00スタート

試験 **即日**  
結果がわかる!

**1級建築**  
施工管理技術検定

一次

採点結果は  
こちらから!



2024年度 1級建築施工管理技士 一次検定  
問題・解答解説集プレゼント

一次検定の問題を見直すことで、  
二次検定の基礎力構築に!  
また、2025年度受検を  
検討されている方は、  
一次検定対策にお役立てください。  
※9月上旬頃の発送予定です。



お申し込みは  
こちらから!

ご希望の方に  
もれなく  
差し上げます。



**ご注意**

※採点サービスは日建学院が独自にご提供するものであり、試験実施機関である一般財団法人 建設業振興基金とは一切関係がありません。合否判定は合格発表にてご確認ください。

※当資料の試験会場での廃棄はご遠慮願います。ご自宅までお持ち帰りください。